



## 通常の入学式を挙行！

本校は、明治30年に創立され、今年で125年目を迎える伝統校です。去る4月8日（木）に、第76回入学式が行われました。昨年度の入學式は、新型コロナウイルス感染症の影響で、放送とプロジェクターを利用した式となりました。しかし、今年度は、来賓の数は制限したものの、ほぼ通常通りの入学式を行いました。入学生代表の宣誓は、1年3組 竹内 全君（古川南中出身）が行いました。「自分自身を錬磨し、新たな環境の中で、互いに切磋琢磨し、これまで以上に成長していきたい」とこれからの高校生活の覚悟を述べました。今のところは、今後の行事等やオープンスクールを予定通り実施するつもりですが、確実ではありません。中学生の皆さん、質問等があれば気軽にいつでもご連絡ください。



## 定期戦 惜敗！！！！

応援団長の石川稜人だ。まずは、最初に定期戦に関わったすべての先生方、生徒たちに感謝を申し上げる。

今年の定期戦は築館高校に6対7で惜敗した。俺はとても悔しい。最後の定期戦で負けたこと。先輩方の勝利を自分たちの代で止めてしまったこと。選手たちに「ごめん。」と謝られたこと。そして何より一番悔しいのは自分が先頭に立ち、応援できなかったことだ。自分は応援団長という立場であるのにもかかわらず、選手たちに何もしてあげることができず、悔しい思いをさせてしまい、本当に申し訳ない。1, 2年生にも初めての定期戦で勝利することができず、申し訳ない。勝利した姿を後輩たちに見せたかった。1, 2年生には今の俺たち3年生のような気持ちになってほしくない。だから、来年こそはこれからの練習の成果を發揮して、築館高校にリベンジして欲しい。俺たちが勝てなかった分も勝って欲しい。最後になるが、様々な制約のある中、2週間にわたって頑張ってくれた選手たち、ご苦労だった。ありがとう。（3年2組 石川稜人 古川南中出身）



## 対面式・応援団入団式・部活動紹介



4月9日（金）に新入生と在校生の対面式、応援団への入団式、そして、部活動紹介が本校第一体育館で行われました。新型コロナウイルス感染予防のため、在校生は、応援団と生徒会執行部、そして、各部の部長だけでした。2, 3年生がいない状況での式でしたが、新入生は緊張の面持ちで参加していました。対面式で新入生代表として挨拶をした山崎颯汰君（1年5組 田尻中出身）は、「私たち1年生は今ある心配や不安な気持ちを自信に変え、一人一人がそれぞれの目標に向かって切磋琢磨していき、中学校までの子どもな自分から自律した人間へと成長していきたいと思います。」と述べ、一日も早く「真の古高生」になれるよう頑張ることを誓っていました。また、部活動紹介では、各部の部長が、一人でも多い部員獲得を目指して、活動の紹介や部としての目標を伝え、新入生も部長から、どんな雰囲気のかの部なのかを読み取ろうと真剣なまなざしで聞いていました。

